

三菱商事
三ツ菱ファッショ

3D・CGスキームを本格化 先行受注が可能、無駄無く

三菱商事ファッションは製品OEM・ODM(相手先ブランドによる設計・生産)における試作反やサンプル縫製を不要とする3D・CGスキームの提案を本格化する。「サンプル作成プロセスの削減で大幅なコストダウンや、生産リードタイムの短縮ができる。無駄の削減で取引先の利益改善につながる」としている。

量の生産や在庫、廃棄を回避するサステイナブル(持続可能な物作り)にも貢献する。CAD(コンピュータによる設計)起点の同スキームには①2Dパターンを3Dで確認修正する3Dモデリング技術、②生地情報を正確にスキャンして3D画像に反映させる「生地スキャン技術」、③3Dモデリング・データに色や光源を補正してEC利用できる「CG技術」がある。

着用CGを短時間で制作できる。これにより、色試験反をはじめ、第二、第三のサンプルの省略のほか、サイズ管理の統一、サイズ(撮影、採寸、原稿作成)業務での撮影・採寸作業の削減を行う。CG画像は生地の風合いが精度高く表現され、顔や背景の画像を合成することでよりリアルに見えるという。4月にデジタル事業推進本部を新設、「デジタルサプライチェーンマネジメントを拡充すること」で、今後は「マイクロOEM」への対応も強化する。必要

な物を必要なタイミングで、無駄なく小ロットで供給する」構えた。



精度の高いCG画像を活用してオンラインで製品を訴求